石田亨 岐阜大学大学院工学研究科



観測量であるBGPテーブルからルーティングポリシ が復元できるか

## BGPの流れ

ルーティングポリシの決定・最適化

ピア先決定

・ランジット可否

【入力】

ポリシー調整

(手動)

コンフィグ

経路情報交換

コンバージェンス

パケット転送

BGPテーブル【出力】

ベストルート

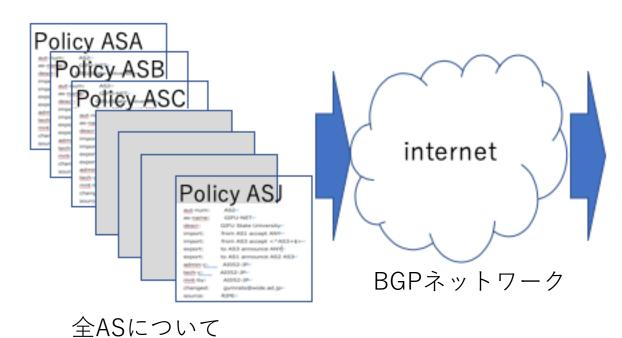
経路表

# 因果関係

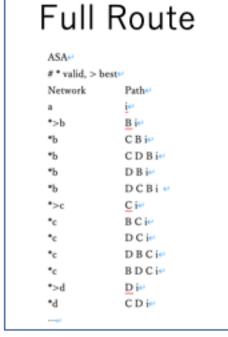
入力 ルーティングポ<mark>リシー</mark>

それぞれ

例:RPSL



出力 BGPテーブル (フルルート)



全ASについて

## 逆を考えて

観測されたBGPテーブルの情報からASのルーティングポリシーが導き出せるはず(逆問題)

#### ・課題

- 全ASのポリシーから全BGPテーブルが作られている
- 全BGPテーブルの収集は現実的ではない
- しかし、特定の観測点を決めてそこのBGPテーブル収集は可能だろう
- •限られた観測点のBGPテーブルから部分的にでもポリシー情報を得られないか?
  - 部分的:限られたASのポリシ?/限られたASとの関係?・・・

### 簡単なモデルでシミュレーション

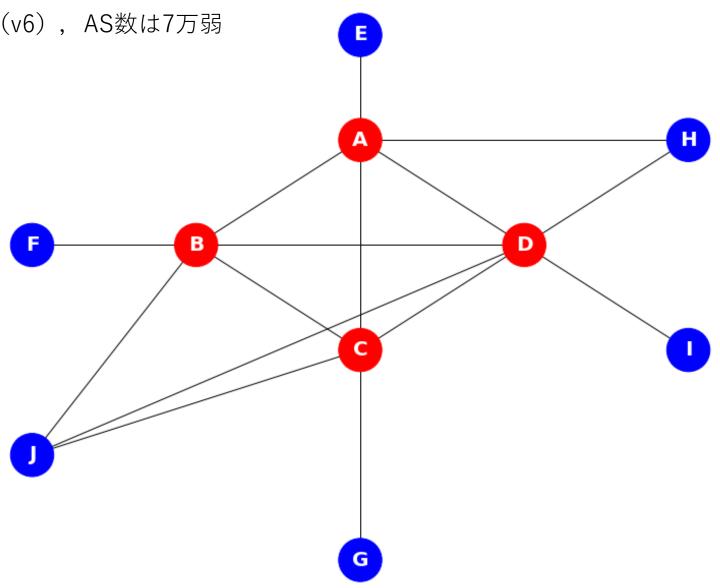
実環境は、80万経路 (v4) 、9万経路 (v6) 、AS数は7万弱

• 10AS, 15Link

• ISP: A~D all Transit

• User: E~J no Transit

• 1AS 1プレフィックス 1ルータ



## ポリシー (RPSL)

aut-num: AS2←

as-name: GIFU-NET←

descr: GIFU State University

import: from AS1 accept ANY

import: from AS3 accept <^AS3+\$><

export: to AS3 announce ANY

export: to AS1 announce AS2 AS3

admin-c: AI052-JP

tech-c: AI052-JP←

mnt-by: AI052-JP←

changed: gymrats@wide.ad.jpe

source: RIPE←

#### BGPテーブル

ASA←

# \* valid, > best←

Network Path←

a <u>i</u>←

\*b C B i←

\*b C D B i←

\*b DBi←

\*b DCBi ←

\*c B C i←

\*c D C i←

\*c DBCi←

\*c B D C i←

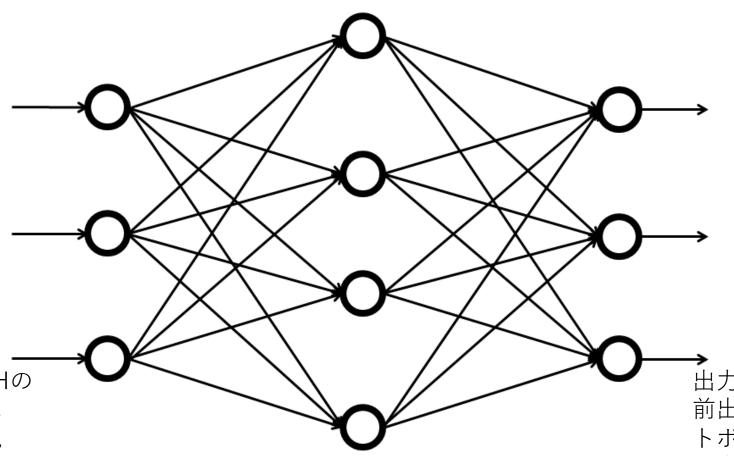
\*>d \_\_\_\_ i←

\*d C D i←

•••

# ニューラルネットワーク

3層パーセプトロン



入力データはルータA,B,HのBGPテーブル内のASパス に出現する隣接ASの出現 頻度の行列を1次元に 並べ替えた300次元ベクトル

入力層

300ノード

中間層

100ノード

100ノード

出力層

出力データは10ASからなる 前出モデルネットワークの トポロジ行列を100次元 ベクトルに展開したもの

### まとめ

• 全ASの隣接ASを再現可

- これから
  - 入力データとして、ASパスに出現する複数ASの並びの出現頻度
    - → トランジット等のポリシが再現できるのではないか。
  - 1AS複数ルータの取扱いは容易
    - → BGPで取扱えるルーティングポリシは取扱えるだろう.
- ・これによって
  - BGPテーブルから様々なルーティングポリシが復元できるのではないか.